

資料4

①利用者が新型コロナウイルス感染拡大前と比較して、減少傾向の中、これまで来館していなかった人の利用促進の方策について

→リニューアルという好機を活かして、図書館があることの広報活動を積極的に行う。期間限定の展示や、イベントを行い、まず来て足を踏み入れていただけるようにしていく。

②地域との連携・協働の推進が重要であり、地域や他機関等との連携によるサービスの拡充と学びの多様化が取り上げられています。中央図書館は生涯学習センター、根岸図書館は根岸社会教育館と複合施設としての強みを活かした、連携・協働を推進していく方策について

→教育支援館や生涯学習の施設利用の方がそのまま、利用してくださるよう、また、待ち時間を快適に活用できるような、居心地の良さを発信していく。

③カフェやホール、子育て支援等の多機能型の施設など、図書館のあり方が転換期を迎えており、利用者のニーズが多様化しています。新たなニーズに柔軟に対応するため、職員の意識改革や人材活用について

→小中学生が、待ち合わせをして学べる場として活用できるように、声を出してよいスペースと、集中して本を読みたい方にも快適な静かなスペースの両方を構成していき、イベントなどをしながら使ってもらえるようにする。

などです。おそらくどれも計画中だと思いますが、よろしくお願いいたします。